

4 安全安心、環境、消防

表4-1 登録自動車数及びその他の車両数

《単位：台》

国土交通省関東運輸局神奈川運輸支局、市民税課調

年度	合計	登録自動車数								
		貨物用			乗合用		乗用		特種	大型特殊
		普通	小型四輪	被けん引	普通	小型	普通	小型		
元年度	40,049	1,430	2,465	68	67	75	17,066	17,773	1,029	76
2年度	39,992	1,480	2,451	65	63	68	17,242	17,506	1,041	76
3年度	39,715	1,436	2,430	51	67	97	17,515	17,064	981	74
4年度	39,379	1,417	2,423	50	67	96	17,574	16,665	1,013	74
5年度	39,213	1,426	2,418	52	76	97	17,859	16,153	1,059	73
年度	合計	その他の車両数								
		軽二輪車	小型二輪	軽自動車	原付自転車	小型特殊自動車	三輪軽自動車			
		元年度	28,430	1,897	1,700	16,415	8,048	367	3	
2年度	28,508	1,938	1,712	16,582	7,903	370	3			
3年度	29,046	1,980	1,773	16,887	8,003	401	2			
4年度	29,565	2,039	1,847	17,112	8,166	399	2			
5年度	30,463	2,060	1,926	17,859	8,219	396	3			

表4-2 交通事故件数及び死亡・負傷者数

《単位：件数、人》

生活安全課調

年	件数	死亡者数	負傷者数
2年	283	1	322
3年	334	2	392
4年	380	—	429
5年	399	3	444
6年	277	1	318

表4-3 大字別交通事故件数

《単位：件》

生活安全課調

年	合計	栗原	相模が丘	四ツ谷	新田宿	立野台	緑ヶ丘	明王	広野台	小松原	座間入谷	座間
2年	283	3	39	4	2	6	11	1	15	16	—	23
3年	334	7	59	5	7	12	25	—	27	15	2	21
4年	380	11	66	8	10	10	11	2	18	18	5	19
5年	399	15	48	11	9	14	14	—	29	16	1	19
6年	277	10	52	6	6	8	12	1	14	15	0	20
年	相武台	入谷	入谷東	入谷西	ひばりが丘	東原	さがみ野	南栗原	栗原中央	西栗原	無番地	
2年	28	3	14	24	31	21	3	15	17	7	—	
3年	25	1	11	18	39	18	3	17	17	5	—	
4年	29	—	19	24	36	35	10	18	23	8	—	
5年	38	—	24	22	57	35	5	19	15	7	1	
6年	25	—	9	12	31	19	6	10	13	7	1	

表4-4 特異事故発生件数

《単位：件》

生活安全課調

年	子ども 関係事故	高齢者	酒酔い	無免許	歩行者	自転車	二輪車
2年	18	88	1	—	55	75	66
3年	26	113	2	5	69	105	74
4年	23	128	3	—	72	116	81
5年	34	132	1	2	72	111	100
6年	15	112	0	2	65	85	59

表4-5 交通安全教室実施回数及び参加者数

《単位：回、人》

生活安全課調

年度	実施回数	参加者数
元年度	45	2,668
2年度	29	1,135
3年度	37	1,370
4年度	48	2,014
5年度	50	2,170

表4-6 交通安全施設整備状況

(令和6年12月31日現在) 道路課調

区分	合計	市道	県道	国道
歩道橋 (箇所)	22	11	8	3
道路照明灯 (基)	1,452	630	686	136
道路反射鏡 (基)	1,948	1,917	31	—
跨線橋 (箇所)	4	1	3	—
橋りょう (箇所)	110	91	18	1
歩道 (m)	91,255	55,076	31,723	4,456

表4-7 放置自転車撤去台数

《単位：台》

生活安全課調

年度	小田急相模原駅	相武台前駅	座間駅	さがみ野駅	合計
元年度	63	104	22	7	196
2年度	31	39	8	4	82
3年度	23	29	8	4	64
4年度	49	41	16	3	109
5年度	28	35	7	9	79

表4-8 刑法犯罪発生件数

《単位：件》

生活安全課調

年	総数	凶悪犯 (強盗・放火等)	窃盗犯	粗暴犯 (暴行・恐喝等)	知能犯 (詐欺等)	風俗犯 (わいせつ等)	その他
2年	654	4	515	24	40	9	62
3年	527	7	379	47	30	7	57
4年	571	9	394	41	35	22	70
5年	648	7	477	38	51	12	63
6年	634	6	470	36	41	14	67

表4-9 防犯灯管理状況

《単位：灯》

生活安全課調

年度	総数	水銀灯	蛍光灯				LED			
			小計	鋼管単独柱	木柱単独柱	電柱等共架	小計	鋼管単独柱	木柱単独柱	電柱等共架
元年度	8,155	2	—	—	—	—	8,153	655	1	7,497
2年度	8,241	—	—	—	—	—	8,241	662	1	7,578
3年度	8,303	—	—	—	—	—	8,303	667	1	7,635
4年度	8,390	—	—	—	—	—	8,390	656	1	7,733
5年度	8,469	—	—	—	—	—	8,469	652	1	7,816

表4-10 ごみ処理状況

《単位：人、t、台》

ゼロカーボン推進課調

年度	収集人口	総排出量	処理方法		業務体制	
			高座	その他	車両	人員
元年度	130,608	36,638	26,875	9,763	26	56
2年度	132,325	34,808	26,571	8,237	26	55
3年度	132,252	33,500	24,824	8,676	26	55
4年度	132,182	32,715	24,407	8,308	26	55
5年度	132,075	31,990	23,987	8,003	26	60

※収集人口、各年10月1日現在。

表4-11 資源物収集量

《単位：人、t》

リユース推進課調

年度	収集人口	合計	アルミ缶	スチール缶	瓶	紙類	布類	ペットボトル	プラスチック製 容器包装	その他
元年度	130,608	7,217	215	165	696	3,039	583	508	1,161	850
2年度	132,325	7,892	238	175	701	3,136	681	547	1,256	1,158
3年度	132,252	8,309	239	163	671	3,027	619	554	1,289	1,747
4年度	132,182	7,996	228	153	609	2,967	590	566	1,297	1,586
5年度	132,075	7,757	222	142	606	2,876	555	567	1,234	1,555

表4-12 集団資源回収量

《単位：t》

クリーンセンター調

年度	合計	アルミ缶	スチール缶	瓶	新聞	雑誌	ダンボール	牛乳パック	布類
元年度	546	14	1	0	278	112	101	3	37
2年度	429	13	1	0	202	89	92	3	29
3年度	367	10	1	0	174	73	80	3	26
4年度	260	9	1	0	123	50	56	3	18
5年度	246	9	1	0	111	48	60	2	15

表4-13 し尿処理実績

《単位：人、kℓ》

クリーンセンター調

年度	収集人口	収集件数	年間 処理量	水洗便所 処理量 (浄化槽)	業務体制	
					車両	人員
元年度	244	2,372	383	3,197	2	6
2年度	227	2,053	346	3,218	2	6
3年度	215	2,027	301	3,394	2	6
4年度	205	1,925	297	2,887	2	6
5年度	177	1,817	280	3,018	2	6

※収集人口、各年10月1日現在。

表4-14 公害苦情処理件数

《単位：件》

生活安全課調

年度	合計	大気汚染	水質汚濁	土壌汚染	騒音	振動	地盤沈下	悪臭	その他
元年度	19	1	—	—	15	—	—	3	—
2年度	38	6	—	—	15	9	—	7	1
3年度	56	3	—	—	30	7	—	15	1
4年度	46	1	—	—	30	4	—	11	—
5年度	57	4	—	—	36	9	—	8	—

表4-15 光化学スモッグ注意報発令回数

《単位：回》

生活安全課調

年度	神奈川県	座間市
元年度	6	1
2年度	2	—
3年度	6	3
4年度	4	1
5年度	2	1

表4-16 地下水環境 有害物質使用事業場数
(座間市の地下水を保全する条例に基づく届出状況)

(令和5年度末現在) 生活安全課調

日本標準産業分類に基づく業種	事業場数	使用している有害物質の種類
総数		
食料品製造業	1	カドミウム及びその化合物、シアン化合物、有機燐※1、鉛※2、六価クロム化合物、砒素及びその化合物、水銀※3、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、ジクロロメタン、四塩化炭素、シマジ ン、1, 1-ジクロロエチレン、チオベンカルブ、ベンゼン、セレン 及びその化合物、ほう素※4、ふっ素及びその化合物、アンモニア・ 硝酸※5、1, 4-ジオキサン
化学工業	4	カドミウム及びその化合物、シアン化合物、鉛※2、六価クロム化 合物、砒素及びその化合物、水銀※3、ジクロロメタン、四塩化炭素、 1, 2-ジクロロエタン、ベンゼン、セレン及びその化合物、ほう素 ※4、ふっ素及びその化合物、アンモニア・硝酸※5、1, 4-ジオ キサン
金属製品製造業	4	六価クロム化合物、ジクロロメタン、ほう素※4、ふっ素及びその化 合物、アンモニア・硝酸※5
電子部品・デバイス・ 電子回路製造業	1	鉛※2
電気機械器具製造業	4	鉛※2、PCB、ふっ素及びその化合物
輸送用機械器具製造業	4	鉛※2、水銀※3、PCB、1, 2-ジクロロエタン
その他の製造業	3	ジクロロメタン、1, 2-ジクロロエタン、ほう素※4
技術サービス業	3	カドミウム及びその化合物、シアン化合物、鉛※2、六価クロム化 合物、砒素及びその化合物、水銀※3、トリクロロエチレン、テトラ クロロエチレン、ジクロロメタン、四塩化炭素、1, 2-ジクロロエ タン、1, 1-ジクロロエチレン、1, 2-ジクロロエチレン、1, 1, 1-トリクロロエタン、1, 1, 2-トリクロロエタン、1, 3 -ジクロロプロペン、ベンゼン、セレン及びその化合物、ほう素※ 4、ふっ素及びその化合物、アンモニア・硝酸※5、1, 4-ジオキ サン
地方公務	1	PCB

※1 有機燐(リン)化合物(ジエチルパラニトロフェニルチオホスフェイト(別名パラチオン)、ジメチルパラニ
トロフェニルチオホスフェイト(別名メチルパラチオン)、ジメチルエチルメルカプトエチルチオホスフェイト
(別名メチルジメトン)及びエチルパラニトロフェニルチオノベンゼンホスホネイト(別名EPN)に限る。)

※2 鉛及びその化合物

※3 水銀及びアルキル水銀その他の水銀化合物

※4 ほう素及びその化合物

※5 アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物

表4-17 地下水環境 井戸の設置者数(座間市の地下水を保全する条例に基づく届出状況)

(令和5年度末現在) 生活安全課調

《単位:人、基》

区分	井戸の設置者	
		うち地下水採取事業者
事業者数	50	31
所有井戸数	70	51

表4-18 気象の概況

消防管理課調

年月	気温 (°C)						湿度 平均 (%)	降雨量総量 (mm)	風速 (m/秒)		
	平均	最高(最高月)	最低(最低月)		平均	最大(最大月)					
2年	16.7	(8月) 38.0	(2月) Δ1.0	59.3	1,649.0	1.4	(10月) 24.5				
3年	16.7	(8月) 37.0	(1月) (12月) Δ2.2	53.9	1,981.5	1.3	(8月) 12.2				
4年	16.5	(8月) 37.3	(1月) Δ3.0	62.6	1,635.0	1.3	(3月) 15.9				
5年	18.5	(7月) 38.0	(1月) Δ2.6	57.2	1,489.5	1.1	(1月) 25.3				
6年	18.2	(7月) 39.8	(12月) Δ0.6	62.7	2,228.0	1.0	(5月) 19.7				
1月	8.1	18.6	Δ0.4	42.1	50.0	0.8	14.8				
2月	8.9	24.5	1.6	54.5	97.5	1.0	18.2				
3月	10.5	28.0	1.6	48.8	248.5	1.2	18.5				
4月	17.7	28.1	7.7	62.8	133.5	1.0	16.4				
5月	20.6	29.1	10.2	62.3	255.5	1.4	19.7				
6月	23.9	34.6	16.2	68.7	395.0	1.0	15.8				
7月	30.0	39.8	23.2	67.2	129.0	0.9	16.5				
8月	30.1	37.6	24.3	70.8	514.0	1.2	12.3				
9月	26.7	35.7	18.3	77.5	105.5	1.1	15.9				
10月	20.5	31.1	11.3	78.5	187.5	0.7	13.2				
11月	13.8	24.5	3.9	67.1	112.0	0.9	13.9				
12月	7.9	18.2	Δ0.6	51.9	0.0	0.8	13.3				

表4-19 救急車出動件数

《単位：件》

(各年12月末現在) 消防管理課調

年	総数	火災	自然 災害	水難	交通	労災	運動 競技	一般 負傷	加害	自損 行為	急病	その他
2年	5,924	14	—	—	331	60	19	902	29	60	3,970	539
3年	6,379	19	3	3	375	44	29	950	44	82	4,237	593
4年	7,324	22	1	—	359	66	38	1,012	32	89	5,108	597
5年	7,609	26	1	2	365	58	18	1,137	23	82	5,233	664
6年	7,913	11	3	3	340	78	42	1,173	31	94	5,348	790

表4-20 消防出動件数

《単位：件》

(各年12月末現在) 消防管理課調

年	総数	火災	市外	水防	支援	誤報・ 虚報	その他
2年	648	34	17	11	463	14	109
3年	679	24	10	8	536	8	93
4年	763	31	11	4	595	16	106
5年	777	38	22	2	589	120	6
6年	862	22	13	12	634	116	65

表4-21 救助出動件数

《単位：件》

(各年12月末現在) 消防管理課調

年	総数	火災	交通	水難	風水害	機械事故	建物等	ガス酸欠等	爆発	その他
2年	88	5	4	2	—	2	42	—	—	33
3年	114	3	9	4	—	—	54	—	—	44
4年	129	4	10	—	1	2	81	2	—	29
5年	140	3	15	1	—	—	73	—	—	48
6年	157	2	6	3	—	1	95	—	—	50

※救助出動件数の火災3件は、消防出動件数と重複

表4-22 119番等、テレホンガイド利用件数

《単位：件》

(各年12月末現在) 消防管理課調

年	119番等					テレホンガイド		
	総数	火災等	救急	いたずら	その他	総数	火災等	医療機関
2年	8,356	139	5,580	65	2,572	4,992	2,668	2,324
3年	8,811	392	6,232	7	2,180	5,117	2,728	2,389
4年	10,398	412	7,410	2	2,574	4,721	2,806	1,915
5年	10,870	479	7,537	5	2,849	4,881	3,243	1,638
6年	10,961	501	7,921	12	2,527	4,266	2,561	1,705

表4-23 火災原因別発生件数

《単位：件》

(各年12月末現在) 予防課調

年	総数	たばこ	こんろ	かまど	衝突の火花	焼却炉	灯火	ストーブ	こたつ	配線器具
2年	34	—	5	—	—	—	—	1	—	1
3年	24	1	2	—	—	—	1	1	—	1
4年	31	2	2	—	1	—	1	—	—	—
5年	38	4	2	—	—	—	—	—	—	4
6年	22	4	—	—	—	—	—	2	—	1
年	ボイラー	溶接機・切断機	電気機器	煙突・煙道	電灯・電話等の配線	排気管	火遊び	マッチ・ライター	たき火	炉
2年	—	—	2	—	1	—	—	1	1	—
3年	—	—	1	—	2	—	—	—	—	—
4年	—	—	1	—	1	—	—	2	—	—
5年	—	—	2	—	1	—	—	3	—	—
6年	—	—	2	—	—	—	1	—	—	—
年	火入れ	取灰	放火	放火の疑い	その他	内燃機関	電気装置	不明・調査中	風呂かまど	
2年	—	—	1	5	2	—	—	14	—	—
3年	—	—	3	3	3	—	—	6	—	—
4年	—	—	1	13	3	—	1	3	—	—
5年	1	—	2	9	6	—	2	2	—	—
6年	—	—	2	6	3	—	1	—	—	—

表4-24 消防団員数

《単位：人》

(各年12月末現在) 警防課調

年	総数	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員
2年	199	1	2	5	8	16	51	116
3年	188	1	2	5	8	16	52	104
4年	182	1	2	5	8	16	52	98
5年	187	1	2	5	8	16	52	103
6年	190	1	2	5	8	16	52	106

表4-25 消防水利

《単位：箇所》

(各年12月末現在) 警防課調

年	総数	消火栓	公設 防火水槽	私設 防火水槽	プール	池
2年	1,445	999	206	222	17	1
3年	1,443	1,000	205	220	17	1
4年	1,458	1,017	204	219	17	1
5年	1,471	1,021	202	230	17	1
6年	1,469	1,021	200	230	17	1

表4-26 消防機械の配備状況

《単位：台》

(各年12月末現在) 警防課調

年	消防本部・消防署							
	はしご付 消防自動車	消防ポンプ自動車			消防ポンプ 自動車	小型動力 ポンプ付き 積載車	小型動力ポ ンプ	救助工作車
	はしご付	化学	水槽付					
2年	1	1	1	1	4	—	—	1
3年	1	1	1	1	4	—	—	1
4年	1	1	1	1	4	—	—	1
5年	1	1	1	1	4	—	—	1
6年	1	1	1	1	4	—	—	1
年	消防本部・消防署				消防団			
	救急車	指揮車 指令車	資機材 搬送車	その他	消防ポンプ 自動車	小型動力 ポンプ付き 積載車	小型動力 ポンプ	その他
2年	5	2	2	9	8	8	2	—
3年	5	2	2	10	8	8	2	—
4年	5	2	2	10	8	8	2	—
5年	5	2	2	10	8	8	2	—
6年	5	2	2	10	8	8	2	—

表4-27 防火対象物・危険物施設件数及び査察件数

《単位：件、施設》

予防課調

年度	防火対象物		危険物施設	
	件数	査察件数	施設数	査察件数
元年度	2,995	186	134	24
2年度	3,013	118	135	19
3年度	3,005	55	122	12
4年度	3,042	104	120	24
5年度	3,040	129	124	15

表4-28 消防力の充足率

《単位：所、台、％》

(令和6年12月31日現在) 警防課調

区分	署所	消防ポンプ車	はしご車	化学車	指揮車	救助工作車	救急車	資機材搬送車	非常用自動車	合計
基準	4	5	2	1	1	1	4	2	2	22
現有	3	4	2	1	1	1	4	2	2	20
充足率	75	80	100	100	100	100	100	100	100	91

表4-29 地震防災応急対策整備状況

危機管理課調

年度	災害用飲用貯水槽(基)		自主防災組織(団体)		軽可搬消防ポンプ(台)		広域避難場所(箇所)	
		うち年度内整備数		うち年度内整備数		うち年度内整備数		うち年度内整備数
元年度	18	—	152	20	57	3	22	—
2年度	18	—	152	—	57	—	22	—
3年度	18	—	104	—	47	—	22	—
4年度	18	—	117	13	45	—	22	—
5年度	18	—	118	1	36	—	22	—

年度	避難所(箇所)		備蓄倉庫(棟)		食糧備蓄(食)	
		うち年度内整備数		うち年度内整備数		うち年度内整備数
元年度	35	—	43	7	98,500	19,700
2年度	35	—	43	—	98,500	19,700
3年度	35	—	43	—	98,500	19,700
4年度	35	—	43	—	98,500	19,700
5年度	35	—	43	—	98,500	19,700

※自主防災組織は単位自治会における団体数であり、年度末現在の数値

※食糧備蓄は、賞味期限切れの廃棄分があるため、各年度購入分の計と総数とは一致しない。

表4-30 いさまメール配信回数

《単位：回》

危機管理課調

年度	配信回数
元年度	142
2年度	144
3年度	134
4年度	95
5年度	83

表4-31 防災訓練・講話支援回数

《単位：回》

危機管理課調

年度	回数
元年度	19
2年度	10
3年度	10
4年度	25
5年度	65